



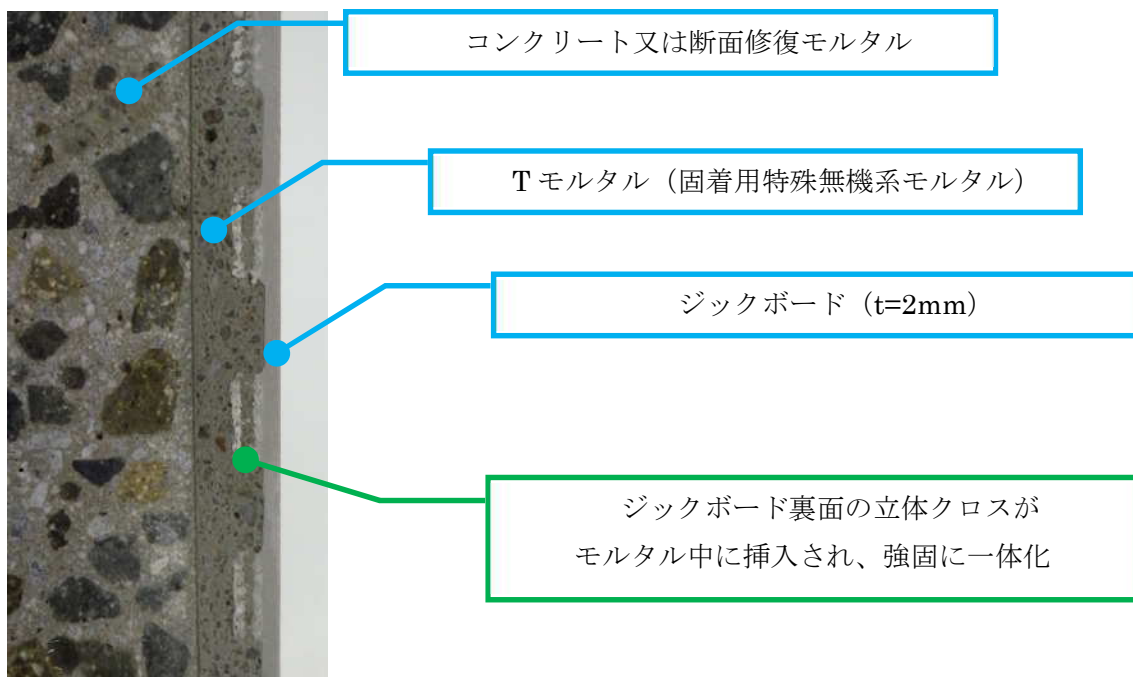
ジックボード T 工法

ジックボード T 工法は、高耐久性ビニルエステル樹脂 FRP 板の裏面に立体クロスを一体成型した成型板【ジックボード】を、特殊無機系モルタルを介して躯体コンクリートに固着・一体化した防食被覆層を形成させるコンクリート防食被覆工法です。

■ 特徴

1. ジックボード裏面の全面に配置された立体クロスにより、特殊無機系モルタルと全面で一体化します。
2. 塗布型ライニング工法と異なり、高湿度環境下でも施工が可能で、施工環境の制約が少ない工法です。
3. 工場作成の FRP 成型板 を用いることにより、安定した品質の防食被覆層を形成できます。
4. 排水処理施設の腐食環境に対して耐久性を発揮します。

■ 施工仕様



■ 適応

日本下水道事業団「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」(平成 29 年 12 月) シートライニング工法 (成型品後貼り型)

■ 施工方法

①劣化部除去工
断面修復工
施工面の清掃

- ・施工前に、劣化部除去工、断面修復工を完了してください。
- ・断面修復材が十分に強度発現していることを確認し、汚れ、ごみ、脆弱層などを除去してください。

②T モルタルの塗布

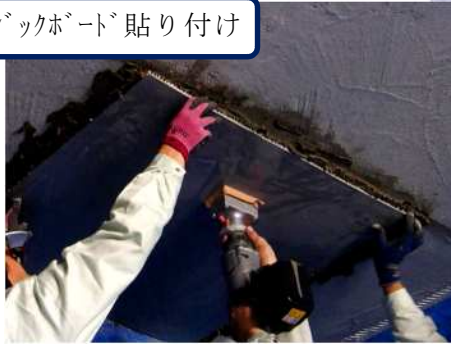


③特殊ローラー仕上げ



②T モルタルの塗布
③特殊ローラー仕上げ
④ジックボード貼り付け

④ジックボード貼り付け



⑤目 地 処 理

- ・T モルタル硬化後、目地部に成型目地材をシリコンコークにて貼り付けてください。
- ・目地材貼り付け後、ファスナーにて固着してください。

⑥養 生

- ・モルタルおよびシール材が硬化(23℃,14日)するまで養生してください。
- ・低温期は樹脂、モルタルが凍結しないよう適切な養生を行ってください。

※施工時の注意

1. 硬化養生中は、低温(5℃以下)を避け、適切な温度を保持して下さい。

■ 注意事項

- ・取扱いに当たっては、製品ラベル又は資料に表示してある注意書きを読み、注意事項を守って下さい。
- ・詳細な内容が必要な場合には、各製品の安全データシート(SDS)をご参照下さい。

日本ジッコウ株式会社

■ 本社 / 神戸市西区南別府1丁目14番6号 〒651-2116 TEL(078)974-1141代

●ここに記載された事項は、標準的な試験方法に準拠した弊社の実験データに基づくものです。多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用者側にて調査検討くださるようお願いいたします。